

《対策強化中》 院内感染対策にご協力を

首都圏では新型コロナウイルスの感染が拡大しています。当院では引き続き、感染対策を強化して対応しています。患者さまやご家族の皆さまにはご不便をお掛けいたしますが、引き続き院内感染対策にご協力をお願いいたします。

■面会について

現在、面会は原則禁止とさせていただきます。病棟・病室以外のロビーやラウンジ、レストランなどパブリックスペースでの面会も同様に原則禁止となります。ただし、(手術説明や入退院時など)病院が必要と判断した場合、面会をお願いすることがあります。その場合は、原則1名(状況により調整)で、熱・咳・下痢・嘔吐などの症状がない方、新型コロナウイルスの濃厚接触者ではない方に限ります。

ご面会の際は、Kタワー1階インフォメーションで検温と体調確認にご協力ください。



東京五輪 聖火つないだトーチ 当院に巡回展示

鴨川市在住で千葉県の聖火リレーの第3区間走者として、7月1日の点火セレモニーに出席された久根崎克美さんのご厚意で、聖火トーチが鴨川市内の学校や医療機関で巡回展示されることになり、当院でも下記の日程で展示が始まりました。ご来院の際は、ぜひご覧ください。



- ・7/26(月)～8/8(日): 亀田総合病院Kタワー1階
- ・8/9(月)～8/14(土): 亀田クリニック1階ロビー

お願い 入院中の履き物について

入院中は慣れない環境、あるいは活動の減少にともない、足の筋力が低下して転倒してしまう患者さまが多くいらっしゃいます。

そのため、入院中の履き物は普段から履き慣れた運動靴など、かかとつきのものをご用意くださいますようお願いいたします。なお、スリッパやサンダルは脱げやすく、摩擦が強いとつまずきやすいため、当院では禁止とさせていただきます。



入院中の転倒を防止するため、ご理解とご協力をお願いいたします。

買い物代行サービス 受付時間変更のお知らせ

ご入院患者さま向けに提供している「買い物代行サービス」の対応時間を7月15日より下記のとおり変更いたしました。利用者の皆さまには、ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。



- 受付時間 8:00～12:00
- 配達時刻 ご依頼日 当日中
配達時刻のご指定がある場合は、9:30までにご連絡ください。
- 連絡先 Kタワー1階
コンシェルジュ・サービスセンター
(内線: 7100、7106)

亀田クリニック 8月の休診日について



2021年は「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催に伴い、「国民の祝日に関する法律」の特例により、7月・8月・10月の祝日に変則となっています。亀田クリニックは日曜・祝日が休診日となりますので、お間違いのないようご注意ください。

8月8日(日) 山の日	休診
8月9日(月) 振替休日	休診
8月11日(水)	通常診療

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FM ラジオ局ベイエフエムの午後のワイド番組『it!! (イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。8月はスポーツ医学科部長の加藤有紀医師が、「膝軟骨損傷」をテーマにお話いたします。ぜひ、お聴きください。



亀田のオンライン診療

3 ウロギネ科

なぜウロギネのオンライン診療なのか

骨盤臓器脱や尿失禁などウロギネ(泌尿器科と婦人科の中間にあたる分野)や、女性排尿機能に関わる病気で悩んでいる方は非常に多いにも関わらず、「恥ずかしいから」と受診をためらったり、「何科を受診したらよいかわからない」「どの程度になったら受診した方がよいかわからない」という声を多く聞きます。



今回のオンライン診療は、そのような患者さまにとって非常に有効な医療提供の場になると期待されています。まずはオンラインで専門家の話を聞き、現在のご自身の状態を知ることが大切です。次にどうするのか、例えば受診が必要なのか？セルフケアで対応可能なのか？セルフケアをするならどのようなものがよいのか？日常生活でどんなことに気をつければよいのか？などの知識を提供します。

ウロギネ科の病気は、専門医の治療により改善が期待できます。快適な生活への第一歩は一步を踏み出す勇気です。コロナ禍における専門医へのアクセスとして、このオンライン診療をご活用ください。

オンライン診療の対象となる患者さま

対象:子宮脱や膀胱脱などの骨盤臓器脱、頻尿、尿もれ、排尿困難などの排尿のトラブル、下腹部痛、膣の違和感、性交時の痛みなど、様々な女性のデリケートゾーンの悩みでお困りの患者さまがウロギネ・女性排尿機能外来の対象となります。次にオンライン診療に向いているケースを紹介します。

1. 今の症状で本当に受診した方がよいかわからない
2. 今の症状で、何科にかかるべきなのかよくわからない
3. いきなり対面での受診は抵抗がある
4. コロナ下での移動に不安があり、専門医を受診できない
5. 近くの婦人科(泌尿器科)にかかっているが、ウロギネの専門の医師にも相談したい

用意するもの: 保険証、支払いのためのクレジットカード
※紹介状およびこれまでのデータは不要です

診療時間: 毎週火曜日の8:30～8:50

担当する医師:
野村 昌良 医師



ウロギネ科部長
女性排尿機能センター長
【専門分野】ウロギネ(泌尿器科と婦人科の中間にあたる分野: 骨盤臓器脱、尿失禁)、排尿障害(間質

性膀胱炎、過活動膀胱など)

月3回野村医師、他1回ウロギネ・女性排尿機能センターの医師(林、沢田、西尾、善山)が担当いたします。

診療実績

ウロギネ・女性排尿機能センターはウロギネ領域において幅広い種類の治療を実施しています。以下は主な治療実績です。

- ・骨盤臓器脱約500例/年
(腹腔鏡手術約300例、経膣手術約200例)
- ・尿失禁手術約150例/年
- ・膀胱水圧拡張術約150例/年
- ・ボトックス膀胱壁内注入療法約60例/年
- ・モノリザタッチ
(膣内CO2レーザー照射療法)約70例/年

当院のオンライン診療について詳しくは専用ホームページ(<https://online.kameda.com/>)をご確認ください。今回は脊椎脊髄外科が取り組むオンライン診療についてご紹介いたします。



医師紹介

いとう ひろゆき 医師
伊藤 博之

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①呼吸器内科(部長代理)
- ②呼吸器内科
- ③スポーツ観戦(広島カープファン)、ドライブ、旅行
- ④患者さまと真摯に向き合い診療して参ります



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>